

第22回秋田県障害者技能競技大会  
「ビルクリーニング」競技課題  
『事務所清掃』

1. 一般的な注意事項

- (1) 競技課題は、「事務所清掃」です。
- (2) 課題の時間は、10分です。
- (3) 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- (4) 競技採点は、作業動作(手順)、仕様誤り、作業態度(あいさつを特に重視します)、作業時間、作業準備・後片付けの5面から審査し、加点方式によって行われます。  
＜あいさつ例＞  
作業場所に最初に入室するとき……失礼しますと一礼し、入室する  
作業中の作業場所出入り時……軽く会釈して出入りする  
作業場所を最後に退室するとき……失礼しました等、一礼し、あいさつする
- (5) 作業に適した服装をして下さい。
- (6) 作業開始の指示(予告)は、進行が行います。「始めます。」「終わりました。」の申告は、競技者自身で行って下さい。
- (7) 各作業は、使用した資機材を手入れした後、指定された場所へ片付けて完了とします。
- (8) 残り2分のときにアナウンスします。

2. 床事務所清掃に関する一般的な注意事項

- (1) 作業面積は、16㎡(4<sup>m</sup>×4<sup>m</sup>)の広さです。
- (2) 床面の掃き拭き・ダストクロス掛け及び水拭き・ゴミ処理・机上拭きの作業です。
- (3) 作業に使用する資機材・消耗品は、作業カート(台車)に載せてあります。
- (4) ラーグ(モップ房)とダストクロスは競技者自身でそれぞれハンドル(伸縮柄)に装着して下さい。
- (5) ハンドル(伸縮柄)は作業前に競技者自身で作業しやすい長さに調節して下さい。
- (6) ラーグ(モップ房)は作業前に競技者自身でモップ絞り器を使用して、水滴が落ちないように固めに絞って下さい。
- (7) 幅木(木枠)の上には壁があるものとして作業を行って下さい。  
＜注意＞作業者の身体や資機材を幅木(木枠)より外に出さないように注意しながら作業をして下さい。
- (8) 作業場所にある机は、移動させないで下さい。
- (9) 使用した資機材は、作業カートの指定された位置へ片付けて下さい。

3. 競技方法・競技会場の概略について

- (1) 競技時間 : 10分(競技開始の予告～競技終了の申告まで)
- (2) 競技の内訳

- ① 資機材の点検
- ② 資機材の準備
- ③ 競技開始の申告
- ④ 作業準備
- ⑤ 入室のあいさつ
- ⑥ 椅子上げとゴミ処理
- ⑦ 除塵を行う(ダストクロスと小ぼうきを使った掃き作業)
- ⑧ 水拭き(モップを使った拭き作業)
- ⑨ 机上拭き

①と②は、競技時間(10分)には含まれませんが、採点の対象になります

- ⑩ 点検
- ⑪ 退室のあいさつ
- ⑫ 資機材の片付け
- ⑬ 競技終了の申告（※全て終了できなかった場合は、競技時間終了の申告）

(3) 競技場の数 : 2面用意されています。

(4) 競技の方法 : 同時に競技を行います。

#### 4. 競技場に用意されているもの

品 名	寸法又は規格	数量	備 考
木枠（組立式 幅木）	4 寸 × 4 寸	2 組	
事務用 机		2 台	各競技場に 1 台
事務用 椅子		2 脚	各競技場に 1 脚
事務室 ゴミ箱		2 個	各競技場に 1 個
ゴミ袋	競技ゴミ箱用	2 枚	各競技場に 1 枚
オガクズ（若干湿っています）		2 袋	各競技場に 1 袋
作業カート		2 台	各競技場に 1 台
作業標示板	両面板	2 枚	各競技場に 1 枚
小ぼうき	300 ミリ	2 本	各競技場に 1 本
文化ちり取り		2 個	各競技場に 1 個
ウエス（タオル）	無地・白色・綿製	4 枚	各競技場に 2 枚
競技者用ゼッケン		14 枚	各自 1 枚
ハンドル（伸縮柄）	1110 ミリ～1180 ミリ	4 本	各競技場に 2 本 各競技場に 1 個
ダストクロスホルダー（モップホルダー）	63 センチ	2 個	ハンドルに装着済み
ダストクロス		2 枚	各競技場に 1 枚
ラグ（モップ房）	260 g 白色 幅:約240ミリ、長さ:約210ミリ 【(株)テラモト ※縁は緑色 FXモップ房糸（白）260 g 】	2 枚	各競技場に 1 枚
モップ絞り器	・プロテック リンガーヘッド (品番: C289-1-000X-MB) (材質: スチールエクロメッキ) ・プロテック リンガータンク (品番: C289-2-000X-MB) (材質: ステンレス) ・プロテック リンガーキャリア (品番: C289-3-000X-MB) (材質: スチールエクロメッキ) ※全て山崎産業株式会社製	2 台	各競技場に 1 台

## 5. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着（上・下）		1着	
作業帽又は三角巾		1個	
作業靴		1足	

<注意1>持参するものは、上記のものに限るが、同一種類の物を予備として持参することは、差し支えありません。

<注意2>作業帽の定めのない職場・学校・一般の競技者は、野球帽のような帽子でも可とします。

## 6. 作業カートに用意されているもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
ゴミ袋（競技ゴミ箱用）	スペア用	1枚	カート
作業標示板	両面板	1枚	カート
小ぼうき	300 <sup>ミリ</sup>	1本	カート
文化ちり取り		1個	カート
ハンドル（伸縮柄）	1110～1800 <sup>ミリ</sup>	2本	カート
ダストクロスホルダー（モップホルダー）	63 <sup>センチ</sup>	1個	カート
湿ったウエス（タオル）	無地・白色・綿製	1枚	カート
乾いたウエス（タオル）	無地・白色・綿製	1枚	カート
ラーグ（モップ房）	260g 白色 幅:約240 <sup>ミリ</sup> 、長さ:約210 <sup>ミリ</sup>	1枚	カート

## 7. 競技（作業）の手順・仕様

### （1）資機材の点検・準備

作業工程	作業方法	補足事項
(1) 資機材の点検	①作業カートに資機材が準備されているか点検する。	・異常があれば申し出る。
(2) 資機材の準備	①ラーグ（モップ房）とダストクロスをそれぞれハンドル（伸縮柄）に装着する。 ②ハンドル（伸縮柄）の長さを調節する。 ③ラーグはモップ絞り器を使用して、水滴が落ちないように固めに絞る。 ④作業カートの所定の位置に収める。	・資機材の準備終了後、審査委員の指示に従い、競技（作業）の準備に入る。

(2) 競技（作業）の手順・仕様の詳細

作業工程	作業方法	補足事項
(競技開始の予告及び計時開始)	①進行係が「始めてください。」と告げます。	・審査委員が告げる場合があります。
(3) 競技開始の申告	スタートラインに立って名前を名乗り、「始めます」と挨拶をしてから作業を開始する。	・競技(作業)開始を申告する。 ・片手を上げ、開始宣言を行う。 ・第一、第二競技場の選手二人がそろって同時に行う。
(4) 作業準備	①作業カートを、保管場所から作業現場の近くに移動する。 ②作業標示板を立てる。	・作業がしやすく、迷惑のかからない場所に、作業カートを移動する。 ・作業場の外側を、廊下と想定します。
(5) 入室のあいさつ	出入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	・失礼しますと一礼し、入室する。
(6) 椅子上げとゴミ処理	①椅子を机の上に上げる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋を、袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を、作業カートの袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペアを作業カートから取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。	・机は動かさない。 ・椅子を机の四隅から、はみ出さないように正しく載せる。 ・ゴミ袋のまま入れる。中身は出さない。 ・ゴミ袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱を机の四隅からはみ出さないように正しく載せる。
(7) 除塵を行う（掃き掃除）		・ゴミの上を歩かない。 ・モップ柄、小ぼうき、文化ちり取りは、機材が縦方向になるように持ち歩く。

	<p>①ダストを持ち、外 から出入り口の内側の除塵を行う。</p> <p>②中に入り、幅木側、机の下、中央部の順番に除塵を行う。なお中央部は、机の後ろから、時計回りで進む。</p> <p>③ 前進しながら、ゴミを出口に向かって1カ所に集める。</p> <p>④ダストクロスヘッドを、ハンドル柄からはずす。</p> <p>⑤ダストクロスヘッドからダストクロスをはずし、ハンドル、ダストクロスヘッドとダストクロスを持って室外に出る。</p> <p>⑥ダストクロスをカート袋に入れ、ダストクロスヘッドをカート袋の上に置き、ハンドルを所定の位置に収める。</p> <p>⑦小ぼうきと文化ちり取りで、ゴミを取る。</p> <p>⑧ゴミの取り残しが無いか、点検を行う。</p> <p>⑨小ぼうきと文化ちり取りを、作業カートの所定の位置に収める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅木側は、反時計回りで。</li> <li>・ 中央部ではダストクロスヘッドを回しながら、ゴミを集める。</li>   <li>・ ゴミを取り残さない。</li> <li>・ 机の下も点検を行う。</li> </ul>
(8) 水拭き (モップ)	<p>①コート全面積を拭く。</p> <p>②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。</p> <p>③コーナー周りとは机の足元は房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④モップは区画ごとに裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拭いたところを踏まない。</li>   <li>・ 拭き残し、拭きむらのないようにする。</li> <li>・ 幅木、机の脚部に触れないようにする。</li>   <li>・ 横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。</li> </ul>
(9) ゴミ箱と椅子をおろす	<p>①最初の位置にセットする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全に音を立てないようにおろす。</li> <li>・ 足の上に落とさないように注意する。</li> </ul>
(10) 机上拭き		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェス(タオル)が汚れたら、きれいな面を出して拭く。</li> <li>・ ウェスは八つ折りで使う。</li> </ul>

	<p>①湿ったウエスを利き手に持ち、乾燥したウエスを反対の手に持つ。</p> <p>②湿り拭きを行う。</p> <p>③ウエス(タオル)を持ち替える。</p> <p>④乾き拭きを行う。</p> <p>⑤ウエス(タオル)を、作業カートの所定の位置に収める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机の後ろ側(椅子側)に立つ。</li> <li>・四隅を拭く(反時計回りで)</li> <li>・横拭き(上→下へ)</li> <li>・四隅を拭く(反時計回りで)</li> <li>・縦拭き(右→左へ)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四隅を拭く(反時計回りで)</li> <li>・横拭き(上→下へ)</li> <li>・四隅を拭く(反時計回りで)</li> <li>・縦拭き(右→左へ)</li> </ul>
(11)点検	<p>①作業場に戻る。</p> <p>②指さし、または目視による点検を行う。</p>	
(12)退室のあいさつ	<p>出入り口にて、室内に向かって退出の挨拶を行う。</p>	
(13)資機材の片付け	<p>①作業標示板を作業カートの所定の位置に収める。</p> <p>②作業カートを保管場所に戻す。</p>	
(14)競技終了の申告 (計時終了)	<p>スタートラインに立って名前を名乗り、「終わりました」と挨拶を行い、作業を終了する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技(作業)終了を申告する。</li> <li>・片手を上げ、終了宣言を行う。</li> </ul>
(競技終了後)	<p>審査員の指示に従って下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助員が誘導する場合があります。</li> </ul>

# 採点について

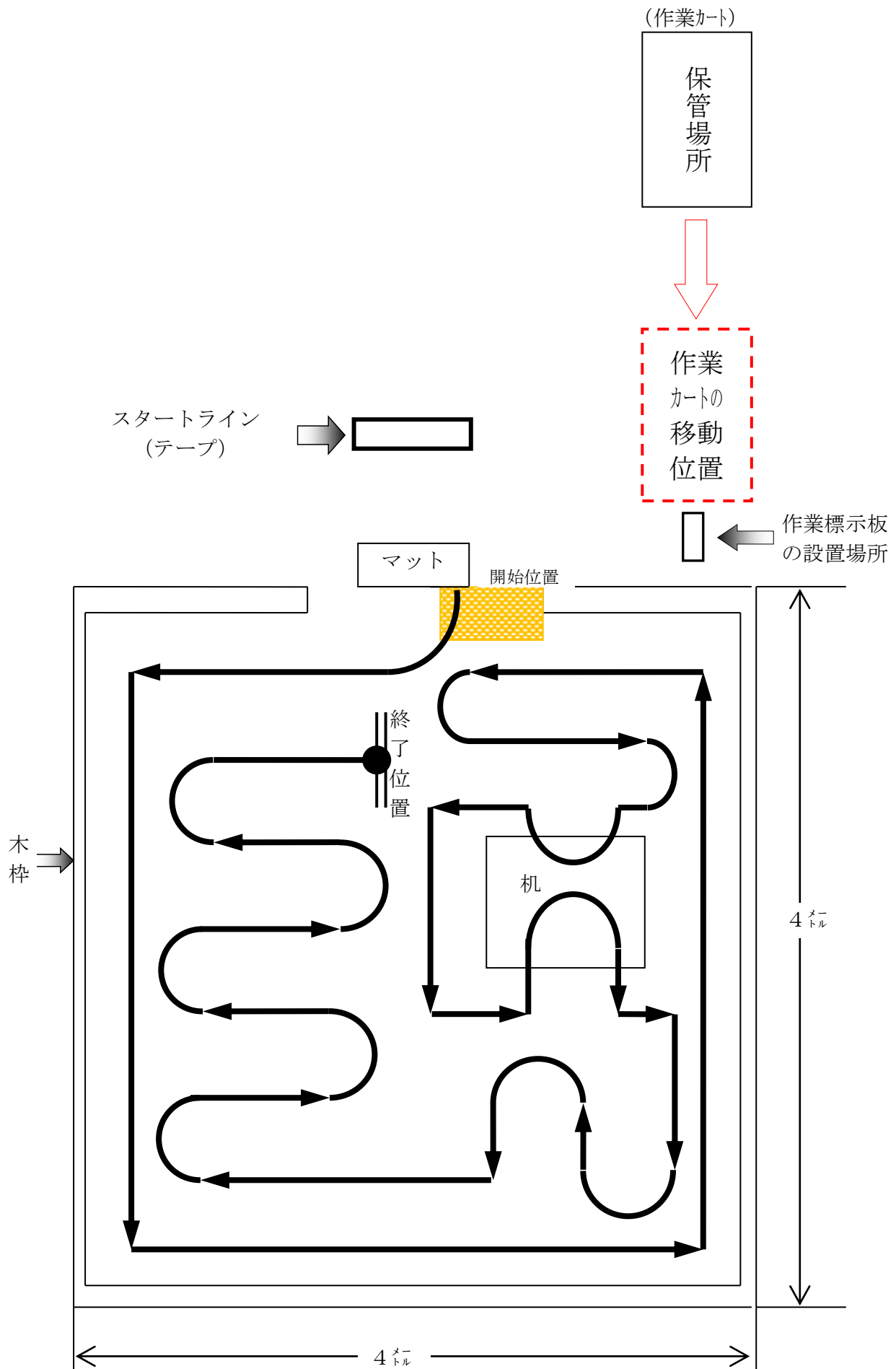
## (1) 評価の基準

判定	評価の基準
A	欠点の無いもので、十分な技能を有していると認められるもの
B	満足できるが、多少欠点があり、やや技能が不足すると認められるもの
D	出来栄が不良で、多くの手直しをしなければならないもの、又は手直しが出来なく技能が無いと認められるもの
E	D判定に加え、資機材の取扱いが著しく悪く、他人に著しい迷惑をかけたもの

## (2) 得点の決定


- ①得点は、審査委員2名の採点の平均点より決定します。
- ②小数点2位を四捨五入し、小数点1位まで計算します。

【ダストクロス作業手順】





【水拭きモップ作業手順】

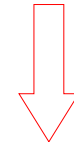
注：  印は手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

- 1 巾木側を1週すること。  
(コーナーは手を添えます)
- 2~3 机の足回りを拭き、机の下を拭く。  
(足回りについては手を添えて)
- 5~6 反対側の机の足回りを拭き、机の下を拭く。  
(足回りについては手を添えて)
- 8~10 スパンを決めて拭き上げる。

(作業カート)

保管場所



作業  
カートの  
移動  
位置

スタートライン  
(テープ)



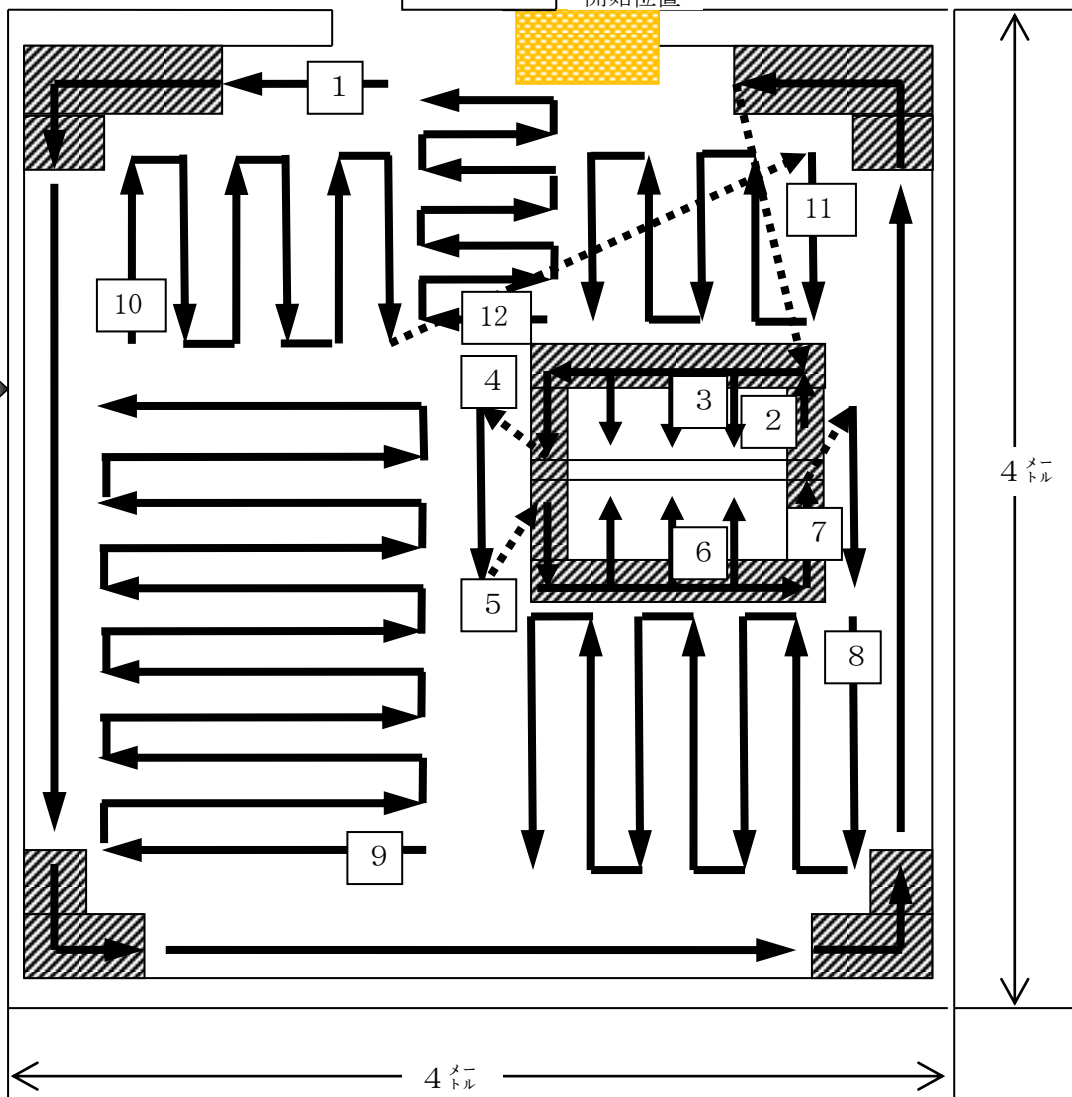
0.9メートル

マット

開始位置

作業標示板  
の設置場所

木  
枠



4メートル

4メートル

【競技場の概略】

